

教001	項目名	大規模改造事業費(小学校)	
予算書項目	大規模改造事業費(小学校)	ページ	31
年度	R元	所 属 名 教育委員会事務局 教育総務課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 学校施設係 0857-20-3353		
款 教育費	【10次総の施策体系】 1102		
項 小学校費	【事業の経過及び背景】 現美和小学校の位置に、神戸小、美和小及び江山中を統合した義務教育学校を開設するにあたり、児童生徒数の増加（神戸小児童数及び江山中生徒数分）に対応した教室数を確保し、小学校及び中学校課程に必要な教育環境を整備する必要がある。		
目 学校建設費	【事業の目的及び効果】 校舎の増築及び既存校舎の長寿命化改良工事に係る実施設計を行い、義務教育学校に対応した教育環境を確保する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ・ 江山地区義務教育学校整備工事実施設計業務 15,798千円 (実施設計52,661千円×0.3 前金分)		
補正前額	396,308		
要求額	15,798		
総務部長段階査定額	15,798	その他財源の内訳	
市長段階査定額	15,798	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	11,800		
その他	0		
一般財源	3,998		
計	15,798		
行財政改革課処理欄			

教002	項目名	学校安全対策費	
予算書項目	学校安全対策費	ページ	31
年度	R元	所 属 名 教育委員会事務局 学校教育課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 生徒指導係 0857-20-3366		
款 教育費	【10次総の施策体系】 4102		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 各学校において児童生徒自らが危険を回避する力を身につけるための教育活動を実践している。しかしながら、児童生徒の安全を確保するためには、地域の力が必要であることから、学校と地域が連携し、地域ボランティアによる見守り活動や校内での交通安全指導などを実施しているところである。 令和元年5月28日に川崎市で発生した小学生等殺傷事件を受け、本市で開催された「子どもの安全に関する関係団体緊急会議」では、市民総ぐるみで子どもの安全を確保していくことを確認し、教育委員会では、学校と地域がより一層連携し、地域ボランティアによる見守り活動等を強化していくこととしている。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 学校と地域との連携による児童生徒の安全見守り活動をより一層推進し、交通安全・防犯教育の充実を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 各小・中・義務教育学校に防犯備品（安全反射ベスト、LED誘導灯）を配布		
補正前額	0		
要求額	798		
総務部長段階査定額	798	その他財源の内訳	
市長段階査定額	798	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	798		
計	798		
行財政改革課処理欄			

教003	項目名	要保護・準要保護児童就学援助費(小学校)	
予算書項目	要保護・準要保護児童就学援助費	ページ	31
年度	R元	所 属 名 教育委員会事務局 学校保健給食課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校保健・支援係 0857-20-3376		
款 教育費	【10次総の施策体系】1102		
項 教育総務費	【事業の経過及び背景】 学校教育法第19条により経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して就学に必要な経費を支給している。準要保護世帯への援助に関しては平成17年度より税源移譲が行われた上で国庫補助が廃止されている。 なお、平成30年度新入学児童生徒より、新入学用品費の入学前支給を実施している。		
目 教育振興費	【事業の目的及び効果】 要保護及び準要保護世帯の経済的負担の軽減を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 国の単価改定に伴い、新入学児童生徒学用品費等の単価見直しを行う。 新入学児童生徒学用品費等 (改定前) 40,600円 (改定後) 50,600円 学用品費 (第1学年) (改定前) 11,420円 (改定後) 11,520円 学用品・通学用品費 (第1学年以外) (改定前) 13,650円 (改定後) 13,770円 校外活動費 (泊を伴わない) (改定前) 1,570円 (改定後) 1,580円 校外活動費 (泊を伴う) (改定前) 3,620円 (改定後) 3,650円		
補正前額	32,079	行財政改革課処理欄	
要求額	1,734		
総務部長段階査定額	1,734	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,734	分担金	0
区分	補正額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	1,734	繰入金	0
計	1,734	贈収金	0
		その他	0

教004	項目名	一般管理費(学校給食センター)	
予算書項目	運営管理費等	ページ	33
年度	R元	所 属 名 教育委員会事務局 学校保健給食課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372		
款 教育費	【10次総の施策体系】1102		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 学校給食センターの主要調理機器は学校給食センター建設時に導入したものが多く、耐用年数を超過しており、大小の故障が発生している。		
目 学校給食費	【事業の目的及び効果】 安全で安心な学校給食を継続的かつ安定的に提供する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 湖東学校給食センターの食器洗浄機の修繕		
補正前額	61,546	行財政改革課処理欄	
要求額	4,212		
総務部長段階査定額	4,212	その他財源の内訳	
市長段階査定額	4,212	分担金	0
区分	補正額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	4,212	繰入金	0
計	4,212	贈収金	0
		その他	0

教005	項目名	学校給食運営事業費	
予算書項目	学校給食運営事業費	ページ	33
年度	R元	所 属 名	
		教育委員会事務局 学校保健給食課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】学校給食係 0857-20-3372、校務支援係 0857-20-3374		
款 教育費	【10次総の施策体系】1102		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 学校給食費は、平成30年4月から公会計に移行し、それまで学校で集金し、学校給食センターが業者への支払いを行っていたものを、市の歳入歳出予算に組み込むことにより、市で集金することとなり、食材費の支払い業務も市が担うこととなった。		
目 学校給食費	【事業の目的及び効果】 学校給食費の公会計化により、学校現場の負担軽減や会計処理の透明性の向上などを図るとともに、児童生徒に安全・安心な学校給食を安定的に提供する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 平成30年度に過誤納となった学校給食費146件分の還付。		
補正前額	936,032		
要求額	62		
総務部長段階査定額	62	その他財源の内訳	
市長段階査定額	62	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	62		
計	62		
行財政改革課処理欄			

教006	項目名	指定文化財等管理費	
予算書項目	指定文化財等管理費	ページ	31
年度	R元	所 属 名	
		教育委員会事務局 文化財課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】保存整備係 0857-20-3367		
款 教育費	【10次総の施策体系】3302		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 国の特別天然記念物コウノトリが本市で初めて営巣し、産卵・孵化していることが確認された。 兵庫県等で野生復帰を目指して積極的に保護活動を行ってきた結果、繁殖地が広がってきたもので、今後本市でも対応していく必要がある。		
目 文化財保護費	【事業の目的及び効果】 コウノトリの雛4羽に個体識別用の足環を取り付ける。これにより個体の追跡が可能となり、コウノトリの保護に資する。		
(単位：千円)	【事業の内容】 総事業費 492千円 鳥取市負担分 164千円(1/3)		
補正前額	3,432	※コウノトリの雛4羽への足環の取り付けは兵庫県立コウノトリの郷公園が実施し、その経費の一部を負担。	
要求額	164		
総務部長段階査定額	164	その他財源の内訳	
市長段階査定額	164	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	164		
計	164		
行財政改革課処理欄			

教007	項目名	文化センター施設管理費	
予算書項目	文化センター施設管理費	ページ	33
年度	R元	所 属 名	
		教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362		
款 教育費	【10次総の施策体系】1101		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 鳥取市文化センター1、2階部の空調改修工事に併せて3階部のエアコンの復旧作業を行っていた際に、天井内にある既設のエアコン配管が破損し、配管内の水が文化センター事務室内に漏れ出し、事務室内にあった指定管理者である鳥取市教育福祉振興会が所有するパソコン機器等が損壊した。 原因を調査した結果、既設配管の老朽化によるものであったため、市の責任として損壊したパソコン機器等の賠償を行うものである。		
目 社会教育施設管理費	【事業の目的及び効果】 配管の破損原因を調査した結果、既設配管の老朽化によるものであったため、市の責任として損壊したパソコン機器等の賠償を行うことにより被害者との和解を行ったうえで解決を図るものである。		
(単位：千円)	【事業の内容】 損壊したパソコン機器等の損害賠償を行う。 ※その他財源の諸収入は、全国市長会市民総合賠償補償保険からの保険金。		
補正前額	86,161	総務部長段階査定額	
要求額	469	市長段階査定額	
		その他財源の内訳	
		分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	200
		その他	0
区分	補正額	行財政改革課処理欄	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	200		
一般財源	269		
計	469		

教008	項目名	さじアストロパーク運営管理費	
予算書項目	さじアストロパーク運営管理費	ページ	33
年度	R元	所 属 名	
		教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362、施設係 0857-20-3363		
款 教育費	【10次総の施策体系】1101		
項 社会教育費	【事業の経過及び背景】 さじアストロパークの園内照明については、星空を観賞しやすいよう、足を照らす仕組みを用いて設置してあるが、照明器具の故障や破損による点灯不良が生じている。そのため、来館者の安全性の確保の観点から更新を行う必要がある。あわせて園内照明の充実を図り施設の魅力を向上させることにより、教育・観光の両面での利用者の増加につなげる必要がある。		
目 社会教育施設管理費	【事業の目的及び効果】 「星取県」の重要拠点施設として、来館者がさじアストロパークの魅力をより感じ取っていただけるよう園内照明の充実を図るとともに、来館者の安全性の確保及び利便性の向上を図ることを目的とする。あわせて、現在の白熱球をLED照明にすることにより、温かみのある照明とするとともに、光熱水費の削減を行うことにより環境への配慮を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 園内照明器具の更新 ・フットライト17基 ・外壁照明5基		
補正前額	36,829	総務部長段階査定額	
要求額	2,208	市長段階査定額	
		その他財源の内訳	
		分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額	行財政改革課処理欄	
財源内訳			
国・県支出金	1,104		
地方債	1,100		
その他	0		
一般財源	4		
計	2,208		

教009	項目名	サッカー場整備費	
予算書項目	サッカー場整備費	ページ	33
年度	R元	所 属 名	
		教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】施設係 0857-20-3373		
款 教育費	【10次総の施策体系】1103		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 (一財)鳥取県サッカー協会からの寄付を活用し、観客・利用者の利便性を高めるよう、寄付の条件であるとりぎんバードスタジアム等の整備を行う。		
目 体育施設費	【事業の目的及び効果】 本市のサッカー場を整備し、本市が取り組んでいる2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致を後押しする。また、観客・利用者の利便性の向上を図るとともに施設のエンターテインメント性を高める。		
(単位：千円)	【事業の内容】 とりぎんバードスタジアムのサブグラウンド養生マット、ベンチフード幕、夜間照明及びトレーニングスペース照明等の整備		
補正前額	0	※その他財源の寄付金は、(一財)鳥取県サッカー協会からの寄付金。	
要求額	2,000		
総務部長段階査定額	2,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	2,000
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	2,000		
一般財源	0		
計	2,000		
行財政改革課処理欄			

教010	項目名	市民体育館等再整備事業費	
予算書項目	体育施設再整備事業費	ページ	33
年度	R元	所 属 名	
		教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】施設係 0857-20-3373		
款 教育費	【10次総の施策体系】1103		
項 保健体育費	【事業の経過及び背景】 市民体育館は、老朽化による大規模改修が大きな課題となっていたことに併せて、平成22年に実施した耐震診断では、耐震補強を要する施設であることが判明した。市民体育館の耐震化を実施する前に廃止・統合も含めた今後のあり方を検討するため、市民体育館等あり方検討委員会に審議いただき、市民体育館は必要であるという提言を受け、平成30年6月に、現在地での新築建替え、新たな市民体育館に求められるコンセプトや機能をまとめた「鳥取市民体育館再整備基本計画」を策定した。		
目 体育施設費	【事業の内容】 市民体育館を民間のノウハウを活用しPFI手法により整備する。事業者選定に係るスケジュールを3ヶ月延長したことに伴い、業務委託期間を延長する。		
(単位：千円)			
補正前額	11,099		
要求額	1,430		
総務部長段階査定額	1,430	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,430	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,430		
計	1,430		
行財政改革課処理欄			